



うさぎ組だより

★子ども会 特集号★

令和5年12月1日
矢野 愛子

明日は、ついに『子ども会』！！ うさぎ組のみんなで毎日少しずつ取り組んできて、他学級の友達に見てもらう嬉しさも感じてきました。大好きなおうちの人に自分たちのお話を見てもらえることをとても楽しみにしています。今週になって「(おうちの人に) いつ見に来てもらえるの?」「あと何回寝たら子ども会??」と話しています。子どもたちの今まで楽しんできていることや取り組みの様子をお伝えさせていただきます！

劇ごっこ「18ひきのどうぶつと さかなとねこ」

お話ごっこの始まり

元気いっぱい面白いことが好きなうさぎ組の子どもたちに、『11ぴきのねこ』を読むと、とても楽しんでいる姿がありました。『11ぴきのねこ』シリーズの他のお話も読むと、「違うお話もあるの!?!」「今度はどんなお話かな!」と毎回とても楽しみにして、そして絵本の世界を楽しんでいました。普段の好きな遊びからねこやきつね等、動物になって遊んだり、学級のみんなで動物になりきって表現遊びをしたりすることを楽しんできたので、11ぴきのねこのお話をもとに、うさぎ組バージョンにして楽しんでいくことにしました。

あらすじ

ねこはいつもお腹がぺっこぺこ。お腹をすかせていると、大きな魚のごちそうの地図を発見します! 地図を見て、大きな魚がいる海を目指して出発することにしました。海に向かう途中に、うさぎ、くま、とりと出会い、お腹がすいている動物を誘って一緒に冒険しながら海へ向かいます。海につくと、大きな魚を発見! しかし捕まえようとしても歯が立ちません……。そこで、どうぶつとねこたちは、子守歌を歌って、大きな魚を眠らせて食べることを考えます……。さて、魚を食べることはできるのでしょうか……??



お話ごっこの取り組み

最初に『11ぴきのねこ』のお話ごっこをしてみんなで遊んだ時は、魚役はありませんでした。しかし、みんながねこになって『11ぴきのねこ』のストーリーに沿って遊んでいると、子どもたちから「魚をやってみたい」「魚もあつた方がいいんじゃない?」との声があがりました。そこで、うさぎ組のお話ごっこでは、魚役も生まれ、やってみたい幼児が楽しむようになりました。

1学期からいろいろな動物になってなりきって動いて遊ぶことを楽しんできたので、ねこ以外の動物にもなってお話ごっこをするのを提案して遊んでみました。

保育室でお話ごっこをして遊んでいる時は、毎回、その日にやってみたい動物をその都度自分で決めて、学級みんなで遊んできました。いつも同じ動物を選ぶ友達もいれば、いろいろな動物をやってみたい楽しむ友達もいます。それぞれ自分の興味のあるもの、やってみたいものを楽しんできました。



また、動物の表現遊びと一緒に、うさぎ組で遊んできたゲームや踊り等の遊びもお話ごっこの中に取り入れました。動物毎に楽しむ踊りやゲームが違うので、どの遊びがしたいか、どの動物になりたいか、といろいろ考えながら、その日にしたい動物を考えるようになっていきました。

いろいろな動物を楽しんだり、お気に入りの動物を毎回楽しんだりしてきました。自分の表現を十分楽しみ、友達の様子を見て楽しさを感じられるようにした後、ずっと同じ一つのものになるとしたら何になりたいかを考え、自分のやってみたい役を選んでいきました。



役が決まって、始めて遊戯室でお話ごっこをした時は、広い所で表現遊びができる嬉しさやステージで表現する嬉しさから、気持ちが高まっていました。保育室よりずっと広い場所だと、動物の表現ものびのびとしていたり、大きな動きになっていたりしました。ワクワクする気持ちが増えていくことを一緒に遊んでいて感じる時間でした。

遊戯室での表現遊びは最初は自分になりきって動いたり話したりすることが楽しかったけれど、慣れてくると、友達の様子にも目が向くようになってきています。自分とは違う役の友達の踊りを一緒に踊ったり、歌ったりすることも楽しむかわいい姿が見られるようになってきています。



お面作り

画用紙を自分で折って、帽子のように被れるお面を作りました。画用紙は折り紙よりも、ずっと厚みがあるため、しっかり折り目をつけるには力が必要です。「固いなあ」「しっかり折らないと」等とつぶやきながら、頑張って折っていました。また、一つ折って画用紙の形が変わる毎に「新幹線の形になった!」「今度は船の形!」等と、形からイメージすることを楽しんで折っていました。



きれいに合わせて・・・

帽子にもなるね!



見て!
お山になったよ~!

画用紙で作った帽子の形ができれば、今度は自分の役の目や口、耳等をつけます。今回のお面は、自分で目や口等を切って、それを帽子型の画用紙に貼っています。フリーハンドで切ったり、複雑な形にしたい時は自分でまずクレヨンで線を描いてから切って作ったりしています。また、「かわいい目にしたい」「(魚のお面では)強そうにしたいから大きな口にする！」等と、自分の役のイメージをもって、その雰囲気ができるお面を作ろうとしている姿もありました。一つ一つのパーツを自分で作っているため、表情豊かで個性のある素敵なお面ができました。



背景作り

劇ごっこに出てくる、背景をみんなで作りました。動物たちが冒険に行く時の草や野原をローラーで色をつけていくことを楽しみました。大きな紙がどんどん染まっていくことは、楽しく気持ちがよくって、一生懸命にローラーを動かしていました。また、ローラーを使うことで緑、黄緑等の色が混ざっていく美しさや面白さも感じたようです。「色が混ざる!」「きれい!」等と気付いたことを言葉にしていました。

そして、明日は海を作ることを知らせると、「青と水色と白の絵の具を混ぜたい!」「海っぽくなるように波も描きたいな」「泡も作ったらいいんじゃない?」等とイメージやしたいことがたくさん子どもたちからでてきました。今までの経験と、その日にローラーをして遊んだ経験が重なり、子どもたちからたくさんの考えが出てきたことが、担任としても嬉しく、みんなの思いをのせながらみんなで作っていきたいなと改めて感じました。

みんなでいっぱいぬるぞ~!



きれいだね~



面白い!色が混ざってる!!



ローラーって楽しいよね~!!

段々、海になってきた!



もっと海らしくしよう!!と白のクレヨンで波や泡を描きました!



大きな海ができると、空き箱で作った船を海に浮かべて遊ぶ姿も!



なみなみに描くのおもしろい~!

泡をいっぱい描くぞ!!

★見所紹介★

動物になってなりきって動きます。一人ひとりが自分のイメージで、動いたり鳴いたりして表現している姿をご覧ください。今までみんなで遊んで楽しんできている遊びをする場面もあります。

ねこ



にゃごにゃごと鳴いたり、草を食べたりして、4本の手脚で歩いてなりきっています。ステージではそれぞれのネコたちが話してごちそう探しの冒険が始まります。



くま



手脚を使って、のっしのっしとクマの表現を楽しんでいます。『ハイ！タンブリン』の曲に合わせてタンブリンを鳴らして遊びます。



うさぎ



びよんびよん弾みながら表現しています。みんなで『どんじゃんけん』の遊びを楽しみます。じゃんけんにも負けずまた並んで繰り返し遊んで楽しんでいます。



とり



翼をハタハタと動かしながら、気持ちよさそうに空を飛んで表現をしています。3人で『なべなべそこぬけ』をして遊びます。



さかな



大きなサカナをイメージして強そうに泳ぎ、早く動いたり、海面から飛び出たりする動きも見られます。みんなで『さかな列車（貨物列車）』の遊びをします。じゃんけんをして、頭、お腹、しっぽの順番を決め、合体して大きな魚になります。



出番ではない時に、友達の遊びを見て、一緒に歌ったり踊ったりしていることもあります！椅子に座りながらも一緒に楽しむ姿もぜひ見てください。

★配置図★

敬称略

子どもたちは、自席でも歌ったり、踊ったりしています。この際、子どもたちは、保護者の方から見て横向きです。保護者の方が、お子様の席の並びに座ると、座っている時の姿が見えにくいです！

★お願い★

★年少の時は、一人一人が自由に言葉を話していましたが、年中さんになると、**グループの友達と声と気持ちを合わせ、台詞を言います。みんなで気持ちを合わせて話す姿を見てあげてください！**

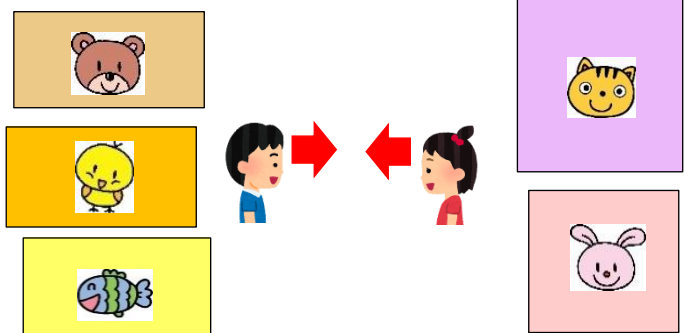
★それぞれの動物の遊びや劇の最後には、頑張った**子どもたちに拍手をお願いします！**

★髪の長いお子さんは、**被り物が脱げないように、耳より下に、髪の毛を結んで**きてください。



★当日は、**白の上着、紺の半ズボン**を履かせてください。

そのため



保護者席

保護者席

こちらの席から
ねこ うさぎ



役の子が、見えやすいです！

こちらの席から
くま とり さかな



役の子が、見えやすいです！

何の役かは、お子さんにきいてみてください！！